

チーフ・データ・オフィサー(CDO)による データマネジメントの取組強化について

株式会社みずほフィナンシャルグループ(執行役社長:佐藤 康博)は、国際的な金融規制の強化や人工知能に代表されるIT技術の進歩により、データを収集・分析し、経営に活かすデータマネジメントが重要な課題となる中、2014年7月にデータマネジメント部を立ち上げました。今般、データマネジメントの一層の強化を図るため、2015年4月1日付で、データマネジメント部の担当役員(執行役副社長:安部 大作)を「チーフ・データ・オフィサー(CDO)」とすることと致しました。

「チーフ・データ・オフィサー」は、データマネジメントの推進責任者として、グループの銀行・信託・証券のデータを一元管理し、リスク管理を強化するとともに、ビッグデータ活用によるマーケティングの高度化を推進してまいります。

たとえば、ビッグデータ活用によるマーケティングにおいて、預金・貸出・投信といったお取引内容やインターネットバンキング・ATMのご利用状況等のビッグデータを活用し、お客さまの潜在的な金融ニーズをとらえ、タイムリーかつ的確に提案する仕組み等を検討してまいります。

今後も当社は、データマネジメントへの取り組みを通じ、グループベースでのリスク管理強化とビジネスイノベーションに一層努めていきます。

以 上